

【令和6年度小学校おすすめ本リスト】

分類	書名	コメント	編著者名	出版社	出版年	価格
007	デジタル世界の歩き方 デジタル機器を自分らしく、自信をもって使うためのガイド	6年生国語「デジタル機器と私たち」にぴったりの本です。	狩野さやか	ほるぷ出版	2023	¥3,960
007	アベベのぼうけん 上・下	6年国語教科書の最後の方に紹介されているだけですが、著者が「ピタゴラスイッチ」の佐藤雅彦さんや、絵本「コンガラガっち」の貝塚智子さんということで、「コンガラガっち」のように楽しめて、低学年に人気です。	佐藤雅彦ほか	小学館	2019	各¥1,650
019	読書を楽しむ帯・POP作りのスゴ技 本のPOPをつくろう	4年国語「本のPOPや帯を作ろう」で使えるかなと思い購入しました。キャッチコピーや紹介文を考えたりするヒント、実例がたくさん出ています。	「本のPOPや帯を作ろう」編集室	理論社	2024	¥3,300
021	小学生のうちから知っておきたい 著作権の基本	著作権って何?というところから、どんな権利があるのか、こんな場合はどうなる?などの解説が載っています。	宮武久佳/著 杉本龍一郎/イラスト	カンゼン	2024	¥1,760
049	これってホント?世界の〇×図鑑	おならに火をつけると爆発する?じゃんけんはパーが勝ちやすい?など、通説、慣習などの疑問を解説。	ウソホント調査隊	文響社	2024	¥1,595
070	それって本当? メディアリテラシーをはじめよう フェイクニュースとクリティカルシンキング	5年生国語「想像力のスイッチを入れよう」で使えないかと購入。	ジョイス・グラント	岩崎書店	2023	¥2,750
209	138億年のものがたり 宇宙と地球でこれまでに起きたこと全史	ビッグバンから新型コロナウイルスまでの138億年間の膨大な出来事を一気に知れる!小学生でも読める文体なので、ページが多いですが人気です。	クリストファー・ロイド	文芸春秋	2023	¥5,280
312	僕たちはまだ、総理大臣のことを 何も知らない	著者と著者が主催している教室の生徒が実際に元総理大臣たちにインタビューしているので、質問も答えも分かりやすく面白いです。歴代総理のおもしろストーリーや年収なども知れて政治に興味がわくかも…。	長谷部京子	Gakken	2024	¥1,430

319	僕らは戦争を知らない	「ロシアとウクライナ」「日本の戦争」「国連・SDGs・できること」などを紹介している。	小泉悠/監修	Gakken	2024	¥5,940
333	SDGsと妖怪図鑑	SDGsについて妖怪が分かりやすく解説してくれている。SDGsがわからない低学年でも、妖怪にからめて書かれているので、入りやすい。	五藤諒真	吉備人出版	2023	¥2,200
337	億万長者も知らない!? お金のびっくり事典	今話題の新札についても紹介しています。	中村浩訳	ポプラ社	2024	¥1,320
361	10歳からの図解でわかるメディア・リテラシー「情報を読み解く力&発信する力」が身につく本	メディアの特性や、フェイクニュース、ソーシャルメディアとの関わり方など、情報量が盛りだくさん。見やすさには欠けるが、調べ学習用のセット物が1冊になったような内容。	中橋雄/監修	メイツユニバーサル コンテンツ	2023	¥1,815
361	それって決めつけじゃない!? アンコンシャス・バイアス	アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み、偏見)まんがで書かれているので、中学年から入りやすい。	北村英哉/監修	汐文社	2024	¥3,080
366	いろいろな人に聞いてみた なんでその仕事をえらんだの?	ヨシタケシンスケさんなど、現在も活躍する人たちのインタビューが載っています。2巻ありますが価格が高め…。	WILLこども知育 研究所/編著	金の星社	2024	¥3,850
368	にぼしとかつおの子どもあんぜん絵本	身の回りの危険から、自分を守るための本。「まいごになったらどうする?」「そとでトイレに行きたくなったら?」など身近なことから、「ネットでなまえをきかれたら?」など今どきの危険への対処法も紹介されている。ひらがなで書かれている。	くまみね/絵 舟生岳夫/監修	ポプラ社	2024	¥1,540
374	給食が教えてくれたこと 「最高の献立」を作る、ぼくは学校栄養士	好ききらいが多く給食が大嫌いだった著者が学校の栄養士さんに出会って学校栄養士を志し、最高においしい給食を目指して挑戦する日々を描く。6年生に『わたしは食べるのが下手』と一緒に紹介。	松丸奨	くもん出版	2023	¥1,540
404	ポケモン空想科学読本	今年度の弘済会にて4巻までシリーズで購入していただいたもの。通常の「空想科学読本」シリーズは普段動かないが、ポケモンということで、手に取る児童生徒が多かった。低学年でも「借りてみたい」と、意気込む子もいた。物理や生物の知識を大人にもわかりやすく解説。	柳田理科雄	オーバーラップ	2016	¥660

407	家でできる!おもしろ科学の実験	実験系の本が欲しくて購入。中は簡単なイラストで示されているため分かりやすい。高学年が自学に使用していることもあった。	ロブ・ヒーラー/文	ほるぷ出版	2022	¥4,950
459	おもしろすぎる鉱物・宝石図鑑	宝石の本は人気がありますが、こちらもかわいいキャラクターと最近流行の(?)装丁と持ち運びの手軽さで人気です。	さとうかよこ	幻冬舎	2024	¥1,430
470	つぼみ たね はっぱ… しょくぶつこれ、なあに?! なんのつぼみ?	1年国語教科書に沿った形式で書いてあってよいと、1年の先生に好評だった。	斉木健一/監修	ポプラ社	2024	¥3,190
480	いのちをまもるじゅういのしごと (全6巻)	2年生国語「どうぶつ園のじゅうい」で使用。獣医の「一日の仕事の流れ」も「様々な仕事」もそれぞれ調べられてよかった。	東武動物公園 八景島 シーパラダイス	小峰書店	2024	各¥2,970
491	人体の学校 わかりやすくておもしろ い!!(ニュートン科学の学校シリーズ)	科学雑誌『Newton』が贈る児童向けの書籍シリーズ。4分類だけでなく、「心理学」や「古代遺跡」などもある。ちゃんと勉強になる雰囲気が良い。	坂井建雄	ニュートン プレス	2023	¥1,540
491	おなかのあかちゃんもういいか〜い?	5年生の理科の人の誕生の前に、導入として。関西弁で楽しく読める。	豪田トモ/さく いけみやみな/え	ポプラ社	2024	¥1,595
493	マンガでわかるスマホ脳の恐怖	「スマホの使いすぎが脳の発達を止める」など、成長期の子ども達の脳や成長への影響を解説。スマホとの適切な距離感を考えるきっかけとしてほしい。	川島隆太	金の星社	2024	¥1,320
538	月に移住!?宇宙開発物語 (PIKARIKA)	科学をおもしろく学べる「PIKARIKA」シリーズの第2巻。縦書きなのでおはなしのように読むことができる。図や写真も適度に入っているので読みやすい。索引あり。第1巻「ノーベル賞受賞者列伝」第3巻「世界を変えた薬」もよさそう。	講談社/編 縣秀彦/監修	講談社	2024	¥2,200
612	めざせ!持続可能な農林水産業	5年生の社会で活用中。今の問題やこれからについて詳しく書かれている。	中野明正/監修	大月書店	2023~ 2024	各¥3,850

614	がんばれ!田んぼマシーン	5年生が毎年総合で米作りについて調べており、農業用機械の本があまりないので購入。ページ数が少なく写真が多いが、説明もきちんと載っているので使える。	池田奈津美	新日本出版社	2024	¥2,860
626	野菜と果物すごい品種図鑑	野菜・果物の新旧スター品種から個性的な新品種まで名鑑でその魅力を解説。品種を聞かれたことがあったのでいれてみました。	竹下大学	エクスナレッジ	2022	¥1,980
724	小学生のための絵がぐんとじょうずになる「色」の使いかた・ぬりかたレッスン	学校でよく使う絵の具を中心に、色ぬりの道具や方法、色の仕組みや混色について。下書きはうまくいくのに…という声を聞くので購入。	麻布アトリエ	メイツユニバーサルコンテンツ	2023	¥1,793
759	ブロックでなんでもつくる!ビルダーの頭の中	設計図なしであらゆるものをレゴで作ってしまう、日本初のプロビルダー・三井さんの頭の中を紹介。「好き」を仕事にする上で大切なことの一つに、お金(販売金額の提案)を挙げている。好きだからやりたい、という夢だけでなく、働くことの意味を考えさせる。	三井淳平	偕成社	2024	¥1,600
786	おもしろすぎる山図鑑	「山」「登山」「森林」「生き物」の4パートあり。「全国のおすすめ山歩20」の中に白山市の「後高山」が載っている。	ひげ隊長	主婦の友社	2024	¥1,540
816	すみっコぐらしといっしょに学ぼう文章が上手になるコツ	分かりやすい。 児童が手に取りやすい。 夏休みの本として借りたがる児童が多かった。	土居正博/監修	主婦と生活社	2024	¥1,050
913	シンデレラのおねえさん	シンデレラが王子様と結婚することが決まり、最初はシンデレラの文句ばかり言っていたシンデレラのお姉さんたち。シンデレラががんばってくれていたことや王子様と結婚するだけが幸せじゃないと気付いていく物語。お堅い感じではなくゆる〜く笑える物語です。	おくはらゆめ/ 文・絵	光村図書出版	2024	¥1,485
913	絶滅動物物語 もう二度と会えないキミへ	悲しくなってしまう内容ですが、文庫で手に取ってもらいやすいかと購入。	うすくらふみ/原作・絵 藤咲あゆな/著 今泉忠明/監修	小学館	2023	¥803
913	みかんファミリー	母の友人家族と一つ屋根の下、女性ばかり6人が同居生活をおくることになる。タイトルの「みかん」の意味を知って、なるほどと思った。	椰月美智子	講談社	2024	¥1,760

913	6年1組すきなんだ	同じクラスの中で主人公が変わる短編。クラスのできごとでも、それぞれが違う感じ方、考え方をしていることがわかります。6年生の森絵都「帰り道」の関連本としても使えらと思いました。	吉野万里子	静山社	2024	¥1,320
913	学園ミリオネア100万円ゲーム1、2	主人公の津田サクラは、あこがれの中学校に入学したものの、父親の会社の倒産で2学期の学費が払えないピンチに!でもこの学園には「投資」でお金を増やす仕組みがあって…。	小宮信夫/監修 宮本巴奈/イラスト	池田書店	2024	¥1,650
913	透明なルール	中学校所蔵が多かったが、小学校高学年にも。透明なルールの方が児童の反応は良い。おすすめして数人の教諭にも読んでもらったが、良い反応だった。	佐藤いつ子	KADOKAWA	2024	¥1,500
913	真実の口		いとうみく	講談社	2024	¥1,500
913	みおちゃんも猫好きだよね?	猫アレルギーを秘密にしている転入生のみおちゃんと、友達になった主人公。ほかの友達がみおちゃんの誕生日会を開こうとしてくれますが、会場に選ばれたのが猫のいる雑貨店で…。	神戸遙真	金の星社	2024	¥1,650
913	うちのキチント星人	はとこのあっくと暮らすことになった4年生の千歌。あっくんは、なんでもキチンとしないと気がすまない「キチント星人」。「オオザツパ星人」の千歌は、そんなあっくんと生活をめんどくさいと感じるが…。視点がめずらしい。	佐藤まどか	フレーベル館	2024	¥1,540
913	ぼくたちのいばしょ 亀島小多国籍探偵クラブ	ネパールからの転校生と新聞作りをすることになった2人。少しずつお互いの理解を深めていく物語。同じ日本人同士でも誤解し合っていた相手のこともわかる場面があり、人種に関わらず考え方の違いや他者を理解することの大切さを感じる。	蒔田浩平	文研出版	2023	¥1,540
913	ともだち	6年生の何気ない日常を描く物語。卒業式の呼名の場面で、それまで物語に登場していなかった子も含めてクラス全員が紹介される。そこで初めて置かれている環境がわかる子もいる。	椰月美智子	小学館	2024	¥1,430
913	おおなわ跳びません	足に軽い障害を持つ双葉がおおなわ大会に出ないと言う。クラスメイトの反応は様々で…。いろいろな立場の子からの目線で描かれている。それぞれが考えることの大切さがわかる。	赤羽じゅんこ	静山社	2024	¥1,540

913	わたしに続く道	日本での人種差別を扱っているが、もっと深いアイデンティティや家族のつながりを描いている作品。ケニア人の父と日本人の母を持つリイマは周りの人の反応から自分が日本人である自信が揺らぐ。しかし祖母とのアフリカ旅行を通して変わっていく。	山本悦子	金の星社	2023	¥1,650
913	ぼくのねこ ポー	学校からの帰り道、塀の上にいたねこを連れて帰ったぼく。うちのねこになってくれたいいなと思ったけれど、仲良くなった転校生の森くんから、引っ越しのときに逃げ出したねこの話を聞かされて……。ぼくの切ない気持ちの揺れを描くお話。	岩瀬成子	PHP	2024	¥1,300
913	ぞうのフニフとわにのワムくん きょうのフニフとあしたのフニフ	素直でちょっぴりお茶目なぞうのフニフと、おおらかでしっかりもののわにのワムくん。1冊に3~4つのお話が入っている。がまくんとかえるくんのようなほっこりするようなお話。	はせがわさとみ	佼成出版社	2023	¥1,300
913	5年1組ひみつだよ	5年生で行った味見読書で、一番★が多かった本です。	吉野万理子	静山社	2022	¥1,210
913	全国小学生おばけ手帖 とぼけた幽霊編	作者自身が開催する「子ども怪談会」で聞き集めた不思議な話やこわい話をまとめた小学生の実話怪談集。聞き取った感があっておもしろい。「こわいはなし」が読みたい！と言われることが多いので購入してみた。	田辺青蛙/原案 岩田すず/作	静山社	2024	¥1,375
913	ペット探偵事件ノート	迷子になったペットを救う「ペット探偵」をしているおじさんを手伝いながら、消えた友達のおねこを探すお話。文章量もちょうどよく、中学年からいいかと。	赤羽じゅんこ	講談社	2024	¥1,540
913	理花のおかしな実験室	理科の得意な小5の女の子理花とお菓子屋さんの孫でクラスの人気者そらとのお菓子づくりの実験が始まった…。お菓子屋さんの再建や二人の恋(?)やライバル登場など少女まんが感いっぱいのお話ですが、最近は男子も読んでいるシリーズ。読み易い!	やまもとふみ	角川つばさ 文庫	2020~	¥814
914	あなたの言葉を	毎日小学生新聞に連載されていた作品を単行本化したもの。作者の実体験をもとに語りかけてくる感じがステキなエッセイ集。高学年女子で小さな広がりか。	辻村深月	毎日新聞出版	2024	¥1,540
916	「ダンスだいすき!」から生まれた奇跡 -アンナ先生とラブジャンクスの挑戦-	「ラブジャンクス」はダウン症のある人たちのダンスチーム。その立ち上げから、育成をつづけたアンナ先生のチャレンジのノンフィクション。読書感想文向き。	なかのかおり	ラグーナ出版	2019	¥1,320

933	虹の島のお手紙つき アメジスト編 1~4	虹の島にあるユニコーン・アカデミーが舞台。寮で暮らす主人公たちが、パートナーのユニコーンと一緒に事件を解決する。 各巻で主人公や、挿絵のイラストレーターが異なる。	ジュリー・サイクス 原作、チーム 151E☆企画・構 成	学研プラス	2022	¥1,232
933	王女さまのお手紙つき フルカラーワイド版1~4 ※ B6判 全12巻もあり	おとぎの世界の王女さまの物語。巻ごとに主人公が異なる。それぞれの主人公たちが、色々なできごとを乗り越える。 ※「虹の島のお手紙つき」、「ひみつの魔女フレンズ」(宮下恵菜)と共に人気。	ポーラ・ハリソン 原作、チーム 151E☆企画・構 成	Gakken	2023	¥1,408
933	ひとつだけ守りたいもの	「家が火事になって1つだけもちだせるなら何を選ぶか。ただし家族は無事だとしたら。」という先生からの問いかけに子どもたちが順に語っていく物語詩。	リンダ・スー・パーク	玉川大学 出版部	2024	¥1,980
933	野生のロボット	あらしの夜、ロボットの入った木箱が無人島に流れ着いた。心がないロボット・ロズのサバイバルと動物達との交流。優しい気持ちになれるお話。続編あり。映画化原作本。	ピーター・ブラウン	福音館書店	2018	¥2,090
E	いえ あるひせんそうがはじまった	2022年2月、ロシアがウクライナ侵攻を開始しました。「いえ」をうばわれた、ある少年のものがたり。いつもの生活がどんなに尊いものなのかを教えてくれる絵本です。	カテリーナ・ティホゾーラ/作 アレクサンドル・ブローダン/ 絵	岩崎書店	2024	¥1,870
E	このかべどうする?	ぼくの目の前には高い壁があります。さあ壁をこえるためにはどうする?何かを自分で作る? 壁をもっとよく調べてみる?そう、壁をこえる方法はひとつではないのです。ワークシートつきでみんなで考えたら楽しそうです。	二歩	くもん出版	2024	¥1,540
E	100ねんごもまたあした	授業で100年後の世界を想像して描くことになった。変わるもの、変わらないものってなんだろう?みんなで考えてみて、感想画にしてもよさそうです。	瀬尾まいこ/作 くりはらたかし/絵	岩崎書店	2024	¥1,870
E	そんなこともしらないの?	昨年の人権週間に6年生に読み聞かせをした。フェイクニュースの拡散や恐怖、軽い気持ちの噂話が人を知らずに傷つけてしまうことが伝えられるかと思う。	パク・ジョンソプ	フレーベル館	2023	¥1,760
E	わかってるって	赤ちゃんが生まれて、お母さんをとられた気になるお兄ちゃんの気持ちが伝わってきます。絵のアライグマ?がかわいく子どもも手にとりますが、先生も読み聞かせしていました。大人も感じるところがあるかもしれません。	しもかわらゆみ	イマジネーション ・プラス	2020	¥1,650

E	ばんごはんえき	ビュッフェのようにおいしいものをのせた車両が到着するばんごはんえき。読み聞かせではページをめくるたび、「これ食べたい」という声があがる楽しい絵本です。栄養士さんと「おはなし給食」にもいいねと話していました。	石崎なおこ/作 田中六大/絵	教育画劇	2023	¥1,320
E	からだとはたらく道具たちシリーズ車いすに乗ったらどうなるの？/義肢をつけたらどうなるの？メガネをかけたらどうなるの？	昨年度、4年総合福祉の授業の資料として購入しましたが絵や文がわかりやすく好評でした。福祉以外で子どもたちにとって身近な健康に関わるものも出版されていたので、買い足しました。	ハリエット・フランドル/作	ほるぷ出版	2021～2022	各¥2,200
E	あぶないばしょはどこ？遊んで学べる防犯絵本	子どもが自分で「あぶない場所」を見分けられるようになるための安全教育絵本。迷路、間違いさがしなど、遊びながら危険な場所を覚えられる。犯罪が起きやすい「場所」に注目した絵本。「いかのおすし」も大事だが、そもそも危ない場所を避けることも大事。	小宮信夫/監修 宮本巴奈/イラスト	池田書店	2024	¥1,650
E	おうちにおばけがすんでいます	帯に「透ける本」と書いてあり、帯の掲示を見て問い合わせる子が多かった。トレーシングペーパーを使ったしかけ絵本ということで、手がかかっているためか価格が難点…	オリヴァー・ジェファーズ	化学同人	2023	¥3,520
E	みらいってなんだろう？	心配性で考えすぎる子のあるあるが描かれていて、どうして心配してしまうのかや、こうするといいかもがわかり、読むと心が少し軽くなるのではないかと思います。これを読んで、同シリーズの『こころってなんだろう？』も借りる子もいました。	ほそかわてんてん	講談社	2023	¥1,595
E	なんてくさいんだ！ロンドンを救ったジョゼフの物語	排泄物で溢れ、においと病気を発生させていたテムズ川をきれいにするために新しい下水道システムを作り上げた年月を描く歴史絵本。キャッチーなタイトルで手に取る子は多いのですが、字が細かいので、じっくり読み聞かせすると中身のおもしろさも伝わるようです。	コリーン・ペフ	あかつき教育図書	2023	¥1,980
E	きょうりゅうのわかっていること・わかっていること	『どうぶつのわかっていること・わかっていること』木下 さとみ/吉森 太助/京都大学野生動物研究センター（2022）のきょうりゅうバージョン	木下さとみ/作 吉森太助/絵 国立科学博物館/ 監修	小学館集英社 プロダクション	2024	¥1,400
E	テントーむし	「ぼくのおふろ」などの鈴木のりたけさんの著作。キャンプの絵本で、テントの張り方やお米の炊き方なども描かれています。	鈴木のりたけ/著 寒川一/監修	白泉社	2024	¥1,650
E	きみのいいところがみつかるとえほん	学校で実施している「いいところ見つけ」などに合わせて購入。低学年からでも。	足立啓美/監修 川原瑞丸/絵	主婦の友社	2024	¥1,430

E	トットちゃんの15つぶのだいず	黒柳徹子さんが子どものころの実話。実体験がそのまま描かれていることで、日常の延長に戦争の影響があることが感じられる。	黒柳徹子/原案 柏葉幸子/文	講談社	2023	¥1,760
E	そらくんのすてきな給食	食物アレルギーについて書かれた絵本。白山市のアレルギー対応とは違う部分もあるが、安心して給食をたべられるように、どんな工夫がされているかわかる。	竹内早希子	文研出版	2024	¥1,760
E	スパゲッティになりたいラーメン じぶんをすきになるえほん	「ラーメンなんてダサイ、スパゲッティになりたい」というラーメンくん。 スパゲッティへのあこがれを残しつつ「ぼくはぼくのままでもいい」となっているところがいい。	キーラ・ライトルイズ	KADOKAWA	2024	¥1,870
E	みならいサンタ	みなちゃんはサンタを目指す女の子。師匠と一緒にソリに乗って出発。一人でおうちの中に入ってプレゼントを無事届けることができるでしょうか？	そのだえり	文溪堂	2019	¥1,430
E	たった2℃で… 地球の気温上昇がもたらす環境災害	地球の平均気温が2℃あがるとどうなるのか？身近な生き物を例にやさしく教えてくれる絵本です。人間も平熱から2℃高くなると病気を疑う。地球も温暖化という病気なのかも！	キムファン	童心社	2024	¥1,980
E	ヤモリ3きょうだい	おかたづけを命じられた兄弟の前にあらわれたヤモリといっしょに、たのしく家じゅうを片付け、お掃除することに。読み聞かせにどうぞ！「ほげちゃん」の作者です。	やぎたみこ	理論社	2023	¥1,540
E	じごくバス	バス停に落ちていたおもちゃ、前から欲しかったやつ、つい持ってバスにのっちゃった！でもそのバスはいつもと違うバスだった！悪いことをするとどうなるか、「後悔先に立たず」なお話です。読み聞かせにオススメ！	有田奈央	ポプラ社	2020	¥1,540
E	きょうりゅうレントゲンびょういん	ここはきょうりゅうのためのびょういん。なやみをかかえたきょうりゅうたちがやってきます。ティラノサウルスのお悩みは前足が短いこと。どんな診断がおけるかな？	キヨン・ヘウオン	パイインター ナショナル	2024	¥1,540
E	あなたにぴったりのふく つくります	ことこさんは森の中の洋服屋。いろんな動物の注文に合わせて生地やレースやボタンを選んで世界に1つのすてきな洋服をつくるというお話。ことこさんと動物たちのやりとりが楽しい。	小淵もも	岩崎書店	2024	¥1,400

E	ふしぎなかさやさん	雨なんてだいきらい!そんなレミの前に現れたのはかさやさんのお店のくろねこ。色とりどりのかさを開くといろんな世界があらわれる不思議なお話。雨の日の読み聞かせや展示に使える。	たなか鮎子	講談社	2023	¥1,400
E	ワレワレはアマガエル	アマガエルが楽しく自己紹介する写真絵本。	松橋利光 文/写真	アリス館	2024	¥1,700
E	ほたるのよる	ほたるの一生を描く絵本で、豆知識もアリ。季節の展示に使えるので購入。	松橋利光 文/写真	アリス館	2024	¥1,700
E	あさいち	1980年刊行の作品が能登半島地震の被災地支援のため復刊された。輪島・朝市のひとびとの語りから作品を作っているの「輪島の朝市」を知るのにいいかと思う。	大石可久也	福音館書店	2024	¥1,100
E	せかいいちまじめなレストラン	ちょっと古い本だが1校しか入っていなかったので紹介。お話給食用の選択肢として依頼で購入。イタメーニョさんは、注文をもらってから腕に寄りをかけてお料理を作ります。食材から取りに行き行って作ります。まじめなので。	たしろちさと	ほるぷ出版	2017	¥1,540
E	いただきまーす	お魚が料理されてお皿にのるまで。食育絵本。来年度のお話給食の絵本。「ごちそうさま」もあり。絵がおいしそうです。	accototo ふくだとしお+あきこ	大日本図書	2021	¥1,430
E	そらくんのすてきな給食	学校給食でのアレルギー対応が分かりやすく載っています。絵本なのでよみきかせにも○	竹内早希子/作 木村いこ/絵	文研出版	2024	¥1,760
E	ねこすけくんがねているあいだに…	養護教諭から「寝るのが遅くなりやすい子に早寝早起きについて分かりやすい」という依頼で購入。読み聞かせて利用した。	西野精治/監修	リーブル	2021	¥1,320
E	からあげビーチ	からあげの外見は一緒でも、中身は全く違う!食の多様性を学べる絵本。低学年だけでなく、高学年にも人気。感想を聞くと「同じように見えるからあげが、実は全然違うのがおもしろい、間違い探してみたい」とのこと。	キリーロバ・ ナージャ	文響社	2021	¥1,680

E	ホッキョクグマのブック	うまれたばかりのホッキョクグマの赤ちゃんが、お母さんと一緒に成長するおはなし。	あずみ虫	童心社	2023	¥1,500
E	のっぽのスイブル155	国語2年(下)教科書に載っている本「おそうじロボットのキュキュ」を読んだ子がリクエストして購入。東日本大震災の復旧工事で使われた水陸両用車のおはなし。	こもりまこと	偕成社	2016	¥1,400
E	むしのたまごシリーズ	「かたつむりのでんでんちゃんうまれたよ!」「かぶとむんぶんちゃんうまれたよ!」「とんぼのぎんちゃんうまれたよ!」「だんごむしのだんちゃんうまれたよ!」「ばったのたんちゃんうまれたよ!」あかちゃんだった虫が成長してその卵が生まれるまでのおはなし	ねもとまゆみ/作 たけがみたえ/絵	童心社	2021~ 2024	各¥1,300
E	きょうりゅうのわかっていること・わかっていること	低学年の子どもたちが楽しく恐竜について知ることができる。	木下さとみ/作 吉森太助/絵 国立科学博物館/ 監修	小学館集英社 プロダクション	2024	¥1,400